学校に通いたい

スーダンにおける
「子どもの教育と女の子を古い慣習から守るプロジェクト」

スーダン南部に位置する白ナイル州の産業は農業と牧畜業で、生産量も少なく人口の40%※1が貧困のなかで生活しています。多くの学校は施設や教材が整わず、子どもたちの就学率は80%未満、しかもその半数は中途退学しています※2。なかでも女の子は地域に根強く残る女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の危険に直面しています。

※1 AFRICAN DEVELOMENT BANK GROUP, SUDAN POVERTY PROFILE, June2018
※2 2018-02-sudan-education-sector-analysis.pdf



長年修繕もされず
今も使われ続ける教室



教室に入る子どもたち（上）／屋根と壁だけの狭い教室で学ぶ子どもたち（下）

一口 100 万円プロジェクト

女の子も男の子も
平等に学ぶチャンスを

一口 100 万円で、個人もしくはグループでご支援いただくプロジェクトです。

ご支援いただくと……
- お名前の入った記念プレートを設置します
- プロジェクトの進捗報告書をお届けします
- 税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けられます

プロジェクトの詳細は
裏面をご覧ください。

募集期間：2022.4/1（金）～2022.6/30（木）



スーダンにおける「子どもの教育と女の子を古い慣習から守るプロジェクト」



老朽化した学校の教室とトイレ、手洗い場を新たに設置し、子どもたちが安全で衛生的な環境で学べるよう支援します。また、教師トレーニングを実施し、教育の質の向上をはかります。地域の住民を巻き込み、教育の重要性や早すぎる結婚・女性性器切除（FGM）など古くから伝わる慣習が女の子にもたらす悪影響について啓発を行います。子どもたち、特に女の子たちが安全な環境で質の高い基礎教育を受けられるようになることを目指します。



●活動期間　2022年9月～2023年8月（予定）

●実施地域　白ナイル州

●おもな活動内容

・小学校の教室と教員室の建設、備品とスポーツ用具の支給
・小学校のトイレ、手洗い場の整備と衛生用品の支給
・教師やPTAを対象とした基礎教育に必要な技能とジェンダー平等に関するトレーニングの提供
・母親グループ、コミュニティ・リーダー、その他地域住民を対象に女性性器切除（FGM）や早すぎる結婚の弊害と教育の重要性への意識啓発

※ここでの小学校は日本の中学生に当たる7、8年生までが対象に含まれます

●対象者

・小学校で学ぶ約2,000人の子どもたち（6～14歳）
・教師、PTA、母親など地域住民約1,000人

●予算　2,000万円


長年修繕もされず今も使われている校舎


レンガが崩れ壁に穴が開いているところも


荒れた状態のトイレは今も使用されている


住民たちに FGM や早すぎる結婚の防止を訴える啓発イベント

このプロジェクトは以下の持続可能な開発目標（SDGs）に貢献します
目標 4　質の高い教育をみんなに
目標 5　ジェンダー平等を実現しよう
目標 6　安全な水とトイレを世界中に



プロジェクト担当者からのメッセージ



サラ・エルタイベ（ホワイト・ナイル活動地域事務所）

子どもたちは安全な環境で学ぶことができていません。特に女の子は早すぎる結婚による中途退学が課題となっています。教育は女の子が自分の人生を切り拓いていくための重要な鍵となります。そして、家族や地域に好影響をもたらすのです。ぜひ皆さまのご支援をお願いいたします。

これまでの参加者の声

学校を建設するだけでなく、女子教育の重要性を啓発した活動が良かったと思います。

支援に参加することで生活が変わりました。自分に何かできることはないかと考えるようになりました。支援することで支援してもらったと感じます。

プロジェクトに関するお問い合わせは、以下へお気軽にご連絡ください。あたたかいご支援をお待ちしております。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン　〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22 サンタワーズセンタービル 11F
「一口 100 万円プロジェクト」担当
Mobile : 080-7739-3430　TEL：03-5481-7100　E-mail: hello@plan-international.jp
※ウェブサイトの「一口 100 万円プロジェクト」のフォームからもお問い合わせいただけます